［美星中］学校（２）年　**Ｒ５ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた単元報告シート**　作成者名【池上　訓文】

●●●●＝必ず記入　　○○○○＝計画に応じて該当するところを記入

めざす子ども像	美星を誇れる子
学年・学期における探究課題	《地域の産業及び生産者の方との関わりや将来の働き方について考える》
単元名	『ワーク＆ライフ職場体験』（全３０時間＝実施時期：６月～１０月）
単元のねらい	学び方を身につけるとともに、「井原Lovers」との交流や職場体験学習を実施する中で自分たちのまちで働く人々の働き方や生き方を理解し、自分たちとまちとのかかわりや将来の働き方から課題を見いだす。その解決に向けて主体的に情報を収集し、目的に応じて比較したり関連づけたりして、課題解決に向けた提案をする。以上のような取組を通じて、地域の人々の思いや願い、自分の夢を大切にして主体的に行動しようとする態度を育てる。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		郷土学習の情報を生かし、ワーク＆ライフ職場体験で学ぶことを知る。	体験する職業について知る。 仕事をするときのマナー、訪問前のアポイントの取り方について知る。	体験で学んだことや生き方について知ったことを整理する。	学んだことのうち、大切なことや伝えなければならないことをプレゼンテーションソフトにまとめて発表する。
仕掛け・工夫	**もの**		タブレット端末	日誌に記録を取る。	タブレット端末
	ひと		ワーク＆ライフ交流会 高校の先生（マナー講座） 体験先の担当者		事業所、保護者などへのまとめの発信をする。
	しごと（こと）	お世話になった事業所の課題を見つける。	体験する職業について知る。	課題の解決策を考える。	保護者・事業所の方に解決策を提案する。
	その他		お世話になる事業所を事前に訪問し、事業所の方と打ち合わせを行う。		お世話になった事業所の方にお礼状を書く。
引き出した姿	**いばら愛** （郷土愛と当事者性）	美星町が抱える課題を見つける。			美星町の事業所での活動を伝えることで、美星町の現状や仕事について考える。 美星町や事業所の課題について考える。
	やり抜く力 （向上心と忍耐力）	ワーク＆ライフ職場体験に見通しを持って取り組む。		体験で学んだことや知ったことの中で大切なことや人に伝えたいことをまとめる。	自分の考えをまとめ、発表する。
	まき込む力 （発信力と協働性）		体験先の方々とのコミュニケーション力		保護者や事業所の方々に考えを伝え、一緒に課題解決に向けて交流を行う。
アウトプットの工夫		発表会を設定	クロムブック	文字や写真でまとめる。	保護者、お世話になった事業所の方へ発表する。

◆　**実際に関連付けた教科・領域、学校行事等**

道徳、学活、社会

◆　**実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等**

高等学校講師によるマナー講座(笠岡商業)、ワーク＆ライフ交流会(7名のキャスト)
美星町内9事業所
〈接続〉1年郷土学習、3年美星プロジェクト

〈R5〉美星中学校・２年　単元名『ワーク＆ライフ職場体験』の流れ（探究過程）と活動の実際　　担当【池上　訓文】

◆単元のねらい

「学び方を身につけるとともに、「井原Lovers」との交流や職場体験学習を実施する中で自分たちのまちで働く人々の働き方や生き方を理解し、自分たちとまちとのかかわりや将来の働き方から課題を見いだす。その解決に向けて主体的に情報を収集し、目的に応じて比較したり関連づけたりして、課題解決に向けた提案をする。以上のような取組を通じて、地域の人々の思いや願い、自分の夢を大切にして主体的に行動しようとする態度を育てる。」

目的を知る

・ふるさと井原の魅力的な「ひと」「もの」「しごと」に出会う。
・職場体験で出会った方との関わりを通して、確かな職業観と豊かな人生観を身に付ける。
・自己の生き方を深く考え、様々な課題を乗り越えていくことのできる力を養う。

ひとに出会う〈ワーク＆ライフ交流会〉

井原市内で様々な職業人に出会い、いろいろな価値観や生き方について学び、考えることができた。

ひとに出会う〈マナー講座〉

マナー講座では、社会人としてのマナーやあいさつの意義について考えた。また、演習を通して適切なあいさつの仕方を身につけることができた。

ワーク＆ライフ職場体験を終えて〈生徒のまとめと課題の解決策の提案〉

・誕生日会で出し物を考えてやるのは大変だったけど、幼稚園のみんなが楽しく遊んでくれて嬉しかったです。とてもやりがいを感じました。
・今回の職場体験で、働くことの大変さがよく感じられました。また、挨拶や礼儀を意識する大切さやコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。
・課題の例「　ぶどう農園を広めるために　」
解決策
・補助金制度があることをインターネットで広め、都会に疲れて移住する人を呼び込む。

ひと・もの・しごとに出会う〈ワーク＆ライフ職場体験〉

美星町内の9つの事業所のご協力で、3日間のワーク＆ライフ職場体験を実施することができた。どの事業所でも、それぞれの「ひと」「もの」「しごと」に触れ、様々な体験をさせていただいた。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○自分ごととして、体験先の経験を通していろいろなことを考え、働くことができた。
△課題設定の意義や狙いを、事業所の方にお伝えする機会を作れなかった。
☆これまで積み重ねたことを踏まえ、来年度は美星町の良いところや魅力を発信できるような企画を計画し、実現できるように働きかけていく。